

当会における福島県原発被災地支援について（ダイジェスト）

◇現地視察（第一回）

日 時：平成 23 年 6 月 12 日（日）10:30～13:00
場 所：（社福）愛星福祉会 精神障害者生活訓練施設 北天寮
（福島県郡山市）
目 的：福島県内の被災避難に係る精神障害者福祉施設等の状況把握と支援内容
の協議
視 察 者：新精社協 7 名 金井（夕映えの郷）、村山（そら倶楽部）、後藤（うらら
長岡）、田中（梨の里）、坂井（ふらっと）、田邊・萬羽（こまくさ）
外 部：県 PSW 協会代表 1 名 那須野（じょぶ倶楽部）
対 応 者：飯野施設長、菊池係長、佐藤主任
交 通 費：協会支給
車 両：梨の里様より、マイクロバス借用

◇現地視察（第二回）

日 時：平成 23 年 9 月 27 日（火） ふらっと 8 時発、21 時 30 分着
場 所：福島県郡山市 社福愛星福祉会 北天寮
福島県いわき市 社福希望の杜福祉会
目 的：福島県内の被災避難に係る精神障害者福祉施設等の状況把握と支援内容
の協議
視 察 者：新精社協 7 名 金井（夕映えの郷）、村山（そら倶楽部）、田中（梨の里）、
杉山（やすらぎ）、久保田（リンク in ひだまり）、銅谷（あどばんす）、
田邊（こまくさ）
対 応 者：柳沼事務局長 鈴木授産事業統括責任者
交 通 費：視察者自己負担
車 両：梨の里様より、マイクロバス借用

◇事業所支援

日 時：平成 23 年 10 月 10 日（月）
場 所：南魚沼市 魚沼産コシヒカリ水田地内（カントリーエレベーター付近）
目 的：福島県西白河郡泉崎村（社福）「こころん」への授産製品材料に関する支援
支援 対象：（社福）「こころん」施設長 熊田芳江 様、他職員 2 名の方
支援 内容：授産製品に材料使用する稲わらと稲穂の結束作業、運搬車運び入れ等。
震災前には就労支援事業として、法人所有の水田で稲作業行い、収穫後に

は稲わらを使用した工芸品をつくり、米と工芸品を首都圏へ出荷していた。しかし、震災後は放射線の影響が非常に低い地域にも関わらず、風評被害を受け、収穫した米と工芸品の出荷の断りが相次ぎ、大変に大きなダメージを受けてしまった。今回、放射能汚染に被っていない他県産の材料を求めておられることを福島県の精神障害者福祉事業所協議会経由で当協会が知り、呼びかけたところ、会員事業所のみなさんより迅速に情報を頂いた。結果、南魚沼地域の生産者様より、良質の稲わらと稲穂をご提供いただくこととなり、先方の施設長、職員計3名より現地にお越いただき、当方の会員4名のご協力を得て、無事作業を終え、お見送りした次第。

協 力 者：山岸由喜雄 様（魚野の家）、栴沢和義 様（太陽の家）、久保田 学 様（リンクinひだまり）、金井（夕映えの郷）

情報提供者：弦巻文子 様（しおさい荘）、江部健幸 様（相談支援センターみなみうおめま）

◇今後の支援について

* 放射能線量計の提供寄付

未だ、高い放射線量が測定されるな福島・郡山地区に設置している精神障害者を主な対象とした社会復帰施設や福祉サービスを行っている事業所のみなさんへの支援として、国産で信頼できる放射能線量計を提供寄付させて頂きたいと準備しています。

* 福島県内で運営されている精神障害者を主な対象とした社会復帰施設や福祉サービスを行っている事業所のみなさまへの支援として、風評被害に被られた授産製品等を扱う施設、事業所に対して、当協会施設・事業所での販売取り扱い、当協会ホームページや広報等、人的ネットワーク、その他の媒体を通じて、当協会の内外に宣伝し、対象となる授産製品の販売に協力することと、その仕方を検討しています。

* 今回の震災を契機に、福島で頑張っておられる方々とのつながりを少しずつでも増やしていきましょう。被災当事者であり、精神障害者のごく普通の生活を実現していこうとがんばっている、私たちと同じ思いの福島の方々とつながることは、私たちにとって、かけがえのないものとなることでしょう。被災を乗り越え、今までにはない、もっと画期的な支援体制を創造していこうという一筋の輝く光が福島にはあります。私たちが見習うべきものがそこにあるのかもしれない。これから、私たちのできることを福島に向けて大いに発信していきましょう。

H23. 10. 10 稲わら作業の様子

